

1. 高山ダムの概要

1-1. 高山ダムの位置

高山ダムは、昭和 28 年の台風 13 号による未曾有の大出水を契機に、下流地域の洪水被害の軽減と発電、水道用水の供給や流水の正常な機能維持を目的とした多目的ダムとして木津川支川名張川最下流部において、総工事費約 116 億円で昭和 44 年に完成した。



図 1-1-1 高山ダム位置図

1-2. 高山ダムの概要

高山ダムは治水機能（最大放流量：1,800m³/s）、利水機能（水道用水 5.0m³/s を供給）、環境機能（流水の正常な機能の維持）、及び水力発電（最大 6,000kW の発電）を目的として建設された多目的ダムである。

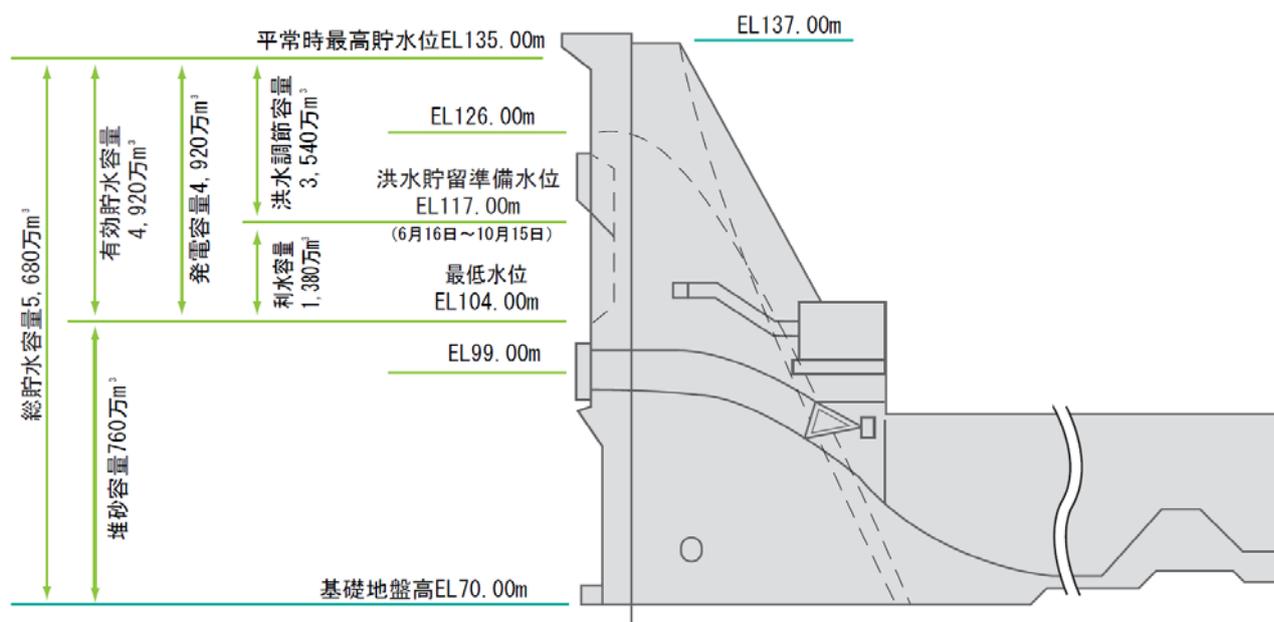


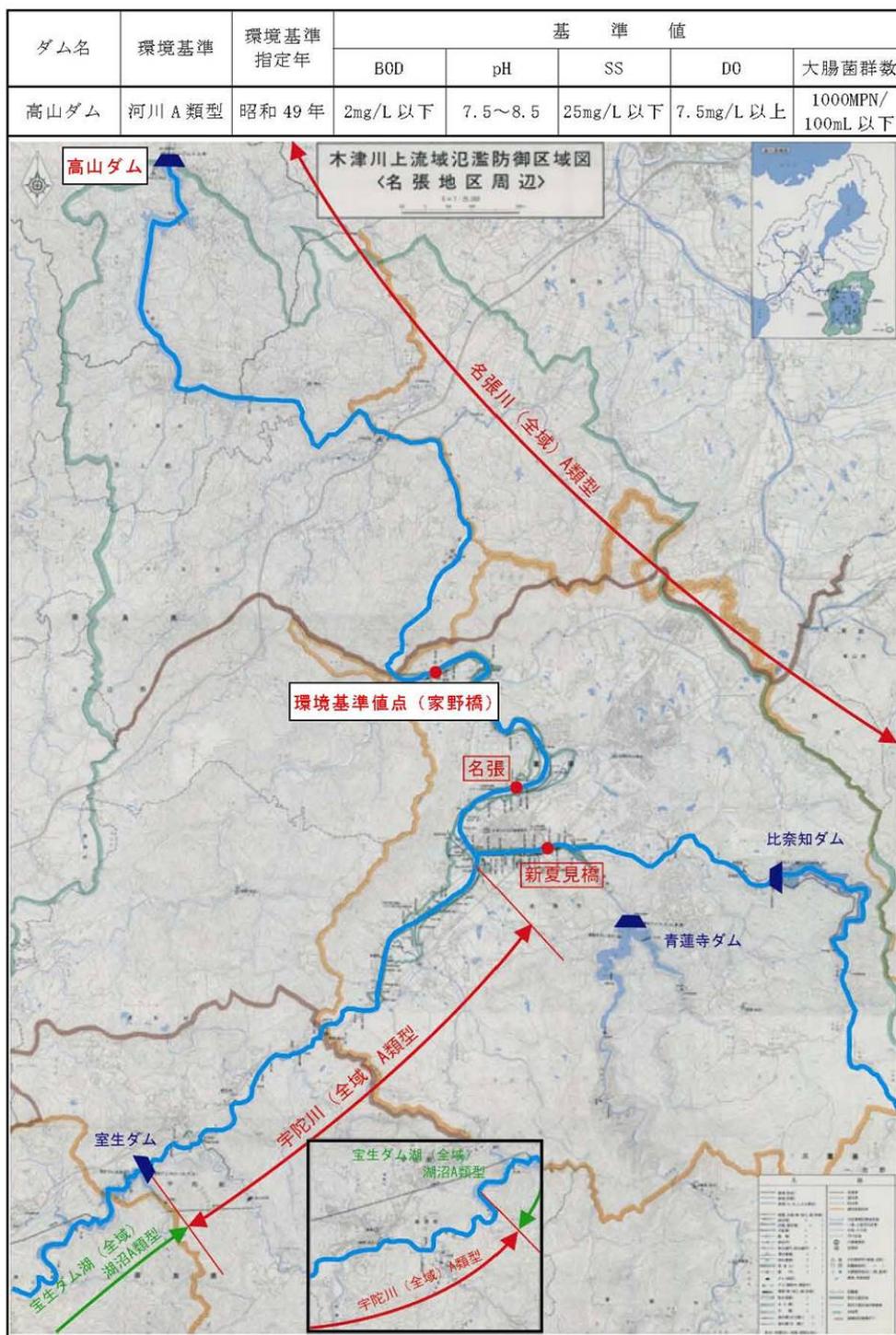
図 1-2-1 貯水池容量配分図

表 1-2-1 高山ダム諸元表

形式	アーチ式重力式 コンクリートダム	総貯水量	5,680 万 m ³
堤高	67.0m	有効貯水量	4,920 万 m ³
堤頂長	208.7m	堆砂容量	760 万 m ³
堤体積	213,900m ³	洪水調節容量	3,540 万 m ³
集水面積	615km ²	発電容量	4,920 万 m ³
湛水面積	2.6km ²	最大発電出力	6,000kW

1-3. 環境基準の指定状況

高山ダムを含む名張川は、昭和49年5月に環境基準のA類型に指定されているが、高山ダム貯水池には湖沼の環境基準は指定されていない。



出典：「日本河川水質年鑑」

図 1-3-1 環境基準の指定状況